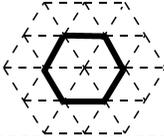
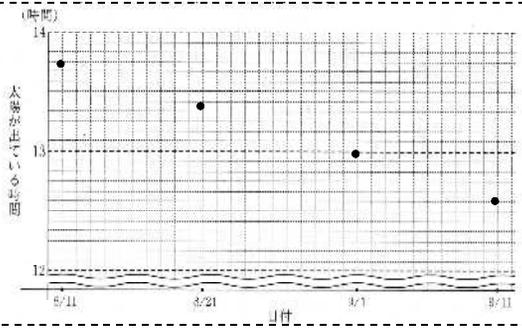


平成30年度 適性検査Ⅱ 正答・正答例及び評価基準

※解答欄に印刷されている単位が重複して書かれていても正答とする。

※漢字の誤字は減点の対象としない。

問題番号		正答または正答例		配点			評価上の留意事項		
問	小問			小問	小計	計			
1	(1)	①	480(cm)	3	11	27	(2)①あ は、「急いで」等も正答とする。 (2)①い は、「ゆっくり」等も正答とする。 (2)③えお は、ともに正しい場合のみ正答とする。 (2)③かき は、ともに正しい場合のみ正答とする。		
		②	5400(g)	4					
		③		4					
	(2)	①	(例) 速く	2	16				
		①	(例) おそく	2					
		②	う 2.5(倍)	2					
		③	え 1256	3					
		お 144							
		か 3140	3						
		き 112							
		く 6	4						
2	(1)	①	(例) 「つぶA」や「つぶB」を加えない状態のもの比べることで、加えたものの効果を明らかにするため。	4	8	20	(1)①は、比べることで白いつぶの効果を明らかにすることにふれた内容を正答とする。 (2)あい は、ともに正しい場合のみ正答とする。「」の有無は問わない。 (3)①は、「最低気温が-10℃以下の月である。」等、具体的な数字で記述したものも正答とする。 (3)②は、表1から最低気温を基準とし、表2から単位量あたりの具体的な数値で示して記述しているものを正答とする。計算で求めた数値は概数でも正答とする。		
		②	イ	4					
	(2)	あい 「つぶA」 い 「つぶB」	3	3					
	(3)	① (例) 最低気温が低い月である。 ② (例) 「つぶA」は1kgあたり150円、「つぶB」は70円なので、最低気温が低い12月から2月は、低い温度までこおらない「つぶA」を使い、最低気温が高い11月と3月は、値段が安い「つぶB」を使う。	4	5	9				
3	(1)	①	(例) 360° は1周の角度、90° は角DCFの角度。360÷90=4は、360° の中に90° がいくつあるかを求め、90° が4つで360° になることを求めている式。	4	8	27	(1)①は、「360」と「90」がそれぞれ何を表しているのかが述べられている解答を評価の対象とする。 (1)②は、「AD+ア=イ+BC、AD=BC、したがって ア=イ」のように、式を用いているなど、表現が異なっても、記述内容が正しい解答は正答とする。また、結論がなくても正答とする。		
		②	(例) 「ADとアの長さの和」と「イの長さ」とBCの和」はどちらも1ページの辺の長さなので等しい。また、四角形ABCDは長方形なので、ADとBCの長さは等しい。だから、アの長さとの長さは等しい。	4					
	(2)	①	あ 長さの比 い 6.28(cm) う 32.5(°) え 角の大きさ(角度)	3	3			19	
		②	理由 小さくなる・ <u>変わらない</u> ・大きくなる (例) 三角形AEBをかくとき、本の大きさは使っていないから、本の大きさはウの部分の角の大きさと関係ない。したがってウの部分の角の大きさは、図5で調べた角の大きさと変わらない。	3	4				
4	(1)		20(cm)	3	3	26	(2)②のグラフは、(8/11 13時間43分)、(8/21 13時間22分)、(9/1 12時間58分)、(9/11 12時間35分)の4点がすべて正しく打たれているものを正答とし、つないだ線の有無は問わない。 (3)①の理由は、「たてと横が同じだから」等、底面の面積が等しいことがわかるように表現されているものを正答とする。		
	①	あ	12(匹)	3					
		い	(午後)7(時)	3					
	(2)	②	グラフ 	4	13				
	(3)	①	理由 深さ 17.5(cm) (例) 底面積が等しいから。	3	4			10	
	②		5(cm)	3					